

授業科目 評価学演習 (3 基礎的評価・運動器系など)

【担当教員名】 黒川幸雄・佐藤成登志・粟生田博子	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60 (内15:基礎的評価・運動器系など)

【<概要>又は<一般目標:G I O>】

体表解剖を基本として、骨、関節、筋及び末梢神経の触察方法及び四肢体幹の整形外科的評価方法、関節可動域測定、徒手筋力検査、神経検査、運動病態に即した各種評価方法、基本動作と日常生活関連動作の検査測定評価法を静的、動的両面について習得する。

【<学習目標>又は<行動目標:S B O>】

- ①理学療法学基礎的評価の方法を理解し、実施できる。
- ②触診ができる。
- ③整形外科的検査が出来る。
- ④姿勢反射、平衡機能の評価が出来る。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	理学療法学基礎的評価(問診・視診・触診)	①	講義・演習 (黒川)
2	Vital signの取り方・疼痛評価など	①	講義・演習 (黒川)
3	触診方法1(頭部・頸部・上肢)	②	講義・演習 (佐藤)
4	触診方法2(体幹・骨盤・下肢)	②	講義・演習 (佐藤)
5	整形外科的検査1(上肢・頸部) 関節、靭帯、筋、神経など	③	講義・演習 (粟生田)
6	整形外科的検査2(体幹・下肢) 関節、靭帯、筋、神経など	③	講義・演習 (粟生田)
7	姿勢反射検査、平衡機能・バランス検査など	④	講義・演習 (黒川)

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	運動療法のための =機能解剖学的触診技術 ①上肢 ②下肢・体幹	監修:青木隆明、 著者:林典雄	MEDICAL VIEW	2冊各5200円
	理学療法評価学[第2版]	松澤 正	金原出版	2004年 6200円+税
参考書	触診術	鈴木 重行	三輪書店	2005 6300円
その他の資料	その他資料は適宜配布します。			

【評価方法】

出席、発表、レポート、期末筆記・実技試験、
その他を総合して行う。

【履修上の留意点】